

4 / 23

新型コロナウイルスの感染予防対策に 市内酒造会社が消毒用アルコールを販売



▲木内酒造合資会社
「BREWRIES UNITE
FOR IBARAKI 70」



▲石岡酒造株式会社
「石岡エール 70」



▲合資会社廣瀬商店
「白菊 75% アルコール」

新型コロナウイルス感染拡大に伴う消毒用アルコール不足を補うため、市内の酒造会社が、手や指の消毒に使用できる高濃度アルコールの製造・販売に乗り出しました。

廣瀬商店（高浜）では4月23日から「白菊 75% アルコール」を販売。また、木内酒造合資会社（那珂市）では、八郷蒸留所（小幡）

にて自社ウイスキーの原酒「NEW POT 70」を製造、4月26日から販売しています。さらに、県内でビール製造を行うアサヒビール(株)、キリンビール(株)と協力し、出荷が見込まれないビールを原料とした高濃度エタノール「BREWRIES UNITED FOR IBARAKI 70」を製造する事業を行っていて、製造されたエタノールは各社ビール工場が立地する地方公共団体へ寄贈されています。石岡酒造(株)は、アルコール分70%の「石岡エール 70」を5月末頃から、オンライン限定で販売予定となっています。各酒造会社とも「ひっ迫している消毒用アルコールの需要が少しでも緩和し、市民の皆さまに活用していただだけら」と取り組んでいます。詳細は各酒造会社へお問い合わせください。

5 / 1

(株)ロコレディから手作りマスク寄付 妊娠届出時に母子健康手帳とともに配布



▲羽富社長（写真左）からマスクを受け取る谷島市長

東大橋にある(株)ロコレディ（常総市）から、手作りマスク 120 枚を提供していただきました。羽富 都史彰社長は「鬼怒川の水害の際には石岡市の方々にお世話になり涙が出る思いだった。その恩義をどうにか返したいと思い提供を決めた。まちの宝である子どもたちの笑顔溢れるまちにしてほしく、妊婦さんにぜひ使ってもらいたい」と想いを語りました。



▲手作りマスクを受け取った妊婦さん

その他マスクをご提供いただいた団体・個人様（順不同・敬称略）

- ・石岡市くらしの会連絡会（布マスク 75 枚・石岡第 1・2 保育所）
- ・株式会社 鈴木縫製（布マスク 40 枚・園部保育所）
- ・大木 浩平（サージカルマスク 250 枚・やさと中央保育所）

4 / 3

令和2年度石岡市消防団長任命式 地域の安心安全のために昼夜問わず活動



消防団は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて参加し、地域住民を守るため昼夜を問わず消防活動にあっています。団員は20代～60代の551名（令和2年4月1日現在）。その団員を指揮監督する消防団長に、櫻井健さん（65）が任命されました。櫻井さんは「地域防災の要として石岡市消防団がワンチームとなり、市民の安心安全を守るという立場で誠心誠意努力してまいりたい」と話しました。

4 / 6

輸血用の血液不足を受けて 市役所で献血に協力を呼びかけ



新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出自粛で献血をする人が減少しており、輸血になくはならない血液が不足しています。そこで石岡市では、4月6日に石岡市役所本庁舎、9日に八郷総合支所にて、職員や来庁者に献血のご協力を呼びかけました。その結果、本庁舎では42人、支所では24人（半日）に協力いただき、目標の40人/日を達成することができました。

市ホームページに市内での献血日程を掲載していますので、ご協力をお願いします。

4 / 17

学校給食の余剰食材 障がい者施設等に提供



市内小中学校の臨時休業に伴い、学校給食が休止となったため、使い切れずに余ってしまった食材が、市内で障がい者施設を運営する社会福祉法人 常陸青山会（光風荘等）と社会福祉法人 陽山会（大雅荘等）に提供されました。提供されたのは冷凍のいか切身330個と鮭切身360個。

食材の提供を受けた（福）陽山会の前島守雅理事長は「提供いただいた大事な食材を有効に使わせてもらいたい」と話しました。